

倫理科擴張建議書二附スル意見：附録

著者	[秋月, 胤永], [内田, 周平], [笠間, 益三]
雑誌名	龍南會雜誌
巻	20
ページ	[附] 2 - [附] 6
発行年	1893-11-09
その他の言語のタイトル	倫理科擴張建議書二附スル意見：付録
URL	http://hdl.handle.net/2298/4145

ひ諸縣の長官より大中小學校員に至るまで

陛下の聖旨を奉體し活模範を仰拜せ感化の風習を傳播し垂教の御助手とあらるべし而て『教育社會にありて倫理學の奧義を能く知り能く行ひ得ることは主として大學生徒及高等中學生徒に擔任負荷せしむべし』然るは從來『倫理科は高等中學本科以上は却て之を賦課せず誠に遺憾の至りに堪へざるあり』伏えて請ふ今より倫理科を擴張し小學より始め尋常高等中學を経貫し大學に至らざることをおれ小官等が肝膽を吐露し仰望數願に堪へざる所あり

倫理科擴張建議書ニ附スル意見

倫理ハ天ニ原キテ人ニ備ハル所ノ性ニシテ人間ノ日用常行離ルヘカヲサルノ道ナリ恭シク惟ミルニ我カ 天祖天孫斯道ヲ言ニ發セス之ヲ身ニ行ハセ給ヘリ是ヲ以テ 聖々相傳ヘ歴世相繼承スルヲ斯道ニ非ルハナシソノ克ク臣民ヲ感化懷服スルモ亦斯道ニ非ルハナシ抑モ 天祖ハ聰明睿知自然ニ之ヲ得サセ給フ所謂之ヲ性ニスルノ聖天子ニシテ此完全無缺ノ帝國ヲ有セラレ給ヒキ故ニソノ流風餘澤後世ニ傳播シ異邦ヨリ之ヲ推シテ君子國ト稱スルニ至ル亦宜ナラズヤ支那ノ如キハ早ク唐虞ノ世ニ於テ敬ンテ五教ヲ數クトアレハ夏殷ニ及ヒテ已ニ不徳ノ事アルヲ見ル畢竟我レハ質ヲ以テ勝リ實行ニ富ムヲ以テ萬世一系ノ帝國ヲ成スニ至リタリ是レ蓋シ上ノ躬行シ給ヘル斯道ノ人心ニ感孚徹底シテ終ニ上下ニ明カナリシニ由ルナリ彼レハ文教風ニ敷キ倫常頗ル明カナリト雖モ竟ニ文ヲ以テ勝リ躬行ノ感化未タ下ニ推及スルニ足ラス故ニソノ弊ハ終ニ放伐トナリテ革命ノ邦ヲ成シ我カ万世一

系ノ帝國トハ天淵ノ懸隔ヲ爲スニ至レリ此レ獨リ支那ノミナラズ歐米各國蓋シ多ク此轍ヲ蹈マザルナシ彼ノ佛國ノ如キハ皇族放逐ノ議ヲ發スルニ至レリ何トナレハ未タ國君タルノ實德アラスシテ強ヒテ大權ヲ有シ億兆ノ人民ヲ壓伏セント欲スソノ放逐ノ議ヲ發スルニ至ルモ亦何ソ怪マンヤ然リト雖モ君タリ臣タル者共ニ此ニ戒慎シテ斯道ニ離ルヘカラスナリ唯夫レ我カ歷世ノ天皇ハ實ニ斯道ニ離レ給ヒシコトナシ以テ万世一系ナル所以ナリ就中 應神天皇ニ至リ既ニ教師ヲ聘シ又教具ヲモ得サセテ最モ斯道ヲ崇重シ給ヘリコレ後世臣子ノ此ニ遵奉セサルヘカラス所以ノモノナリ今ヤ 天皇陛下遠ク 祖宗貽謀ノ美ヲ繼述シ給ヒ曩キニ 明詔ヲ宣シテ倫常ノ道ヲ天下ニ頒布シ給ヘリ苟モ國民タル者必ス之ヲ奉体シテ發揚セサルヘカラス況ンヤ職ニ教育ニ任スル者焉ソソ日夜惕厲發憤一意專心以テ之ヲ擴張セサルヘケンヤ今之ヲ擴充推及スルノ功效ヲ言ヘハ蓋シ大綱三アリ請フ且ツ之ヲ言ハン

一 教化ノ基礎定マル

二 民心安固ニナル

三 賢良ノ人材ヲ出ス

維新以來公私ノ學校三万有餘ニ至リソノ教員ハ十萬人ニ餘ルト聞ケリ實ニ我帝國未曾有ノ盛事ナリトス況ンヤ 明詔ノ天下ニ敷クニ及ヒテ教化ノ大旨灼然トシテ火ヲ觀ルカ如シ然リト雖モ其言タル簡約ニシテ深遠ナレハ今之ヲ各生徒ニ踐行セシメソニハ博ク聖經賢傳ニ採リコレヲ明言シテ詳說シ切實ニ教ヘテ會得セシメサルヘカラス之ヲ斯クセントスルニハ教員自ラ能ク先ツ知リテ行ハサルヘカラス抑モ我カ上古ハ言舉ケセサルノ其國振リニシテ曾テ講究スヘキノ經史アルニ非スト雖モ其風

美俗自ラ君臣上下真心相與ミスルノ間ニ凝成シテ之ヲ遺傳シ後コレヲ飾ルニ文物典章ヲ以テシテ遂ニ異邦ヨリ君子國ノ名ヲ博スルニ至レリ中世以降武門政權ヲ專有シ 皇室ノ德化下民ニ及ハサリシト雖モ所謂武門武士ナルモノ亦實直義ヲ好ムノ風アリテ上世以來ノ遺傳ヲ失ハス徳川氏ノ世ニ及ンテハ幕府ト列藩ト悉ク學ヲ建テ師ヲ置キ而シテ教ユル所ノ大綱ハ忠孝ヲ本トシ禮義廉耻ヲ知ラシムルニ在リ此レヲ以テ風紀ヲ維持シ人心ヲ振起シ國家ニ益スルコト少カラストス終ニ以テ一種特殊ノ風習ヲ成セリ之ヲ要スルニ近時大政ノ古ニ復セシモノ特殊ノ風習ヨリ醸成シタルニ外ナラス今ニ至リテ國体古ニ復スト雖モ往古ノ質朴ニシテ實行ニ富メルノ風ハ復タ見ルヘカラス又近古ノ忠孝禮義廉耻ノ風モ漸ク頽廢スルノ傾キアリ豈ニ歎スヘキニ非スヤ斯ノ時ニ於テ 明詔ノ煥發アラセラレシニハ眞ニ暗夜ニ燈ヲ點シタルカ如キ思フナセリ聞ク外國ニハ宗教ヲ以テ道德ニ充ツル者アリ又倫理ノ學ハ之ヲ各人隨意ノ講究ニ委シテ其實行ヲ責メスト然レモ我國古ヨリノ風習ハ前述ノ如シ強ヒテ外國ノ例ニ倣フトキハソノ弊言フニ勝ヘサルモノアラントス故ニ目下ノ急務ハ 明詔ノ主旨ヲ奉体シテ倫理ノ教ヲ擴張スルニ外ナラサルナリ若シ夫レ三萬有餘ノ學校長カ躬行率先シ十萬餘人ノ各教員果シテ能ク共ニ力ヲ此ニ盡サハ前古君子國ノ美稱ヲ失ハス忠孝禮義廉恥ノ氣風モ恢復スルコトヲ得ルニ庶幾カラン

凡ソ社會ハ人倫ノ組合ナラサルナク貝蛤ノ如ク組合フテ持チ居ルモノトス孔子之ヲ類別シテ五倫トナシ君臣トイヒ夫婦トイヒ兄弟トイヒ朋友トイフ孟子之ヲ注釋スルニ親義別序信ヲ以テシテ百世ノ教規ヲ立ツ之ヲ推言スレハ更ニ小組合ノアルアリ同姓ノ組合外戚ノ組合師弟ノ組合尊卑ノ組合同僚ノ組合公衆ノ組合アリ今各組合ノ秩序ヲ立テ愛敬以テ之ヲ協和スルハ一家ヨリ各町村郡縣府廳ニ

至ルモ何ゾ治平ノ難キ一カアラン之ニ反シテ秩序ヲ失フハ一家一町村ノ治マラサル而已ナラス四海擾乱シテ顛覆スルニ至ラントス豈ニ懼レサル可ケンヤ今ヤ政ヲ爲ルニ道ヲ以テシ君臣ノ間ニアリテハ果シテ義ニ適スルカ父子ノ間ニ在リテハ果シテ親ニ適スルカト三顧四省シ大小ノ組合毎ニ必ス日々工夫ヲ此ニ用弗斯ノ道ヲ以テ統合通貫セハ各其宜シキヲ得テ民心一定シ睽離渙散ノ患ヲ見サルニ至ラン論者或ハ云フ法律ニハ權力アレモ道德ニ權力ナシ故ニ人間ノ行爲ヲ制裁スルニ足ラスト是レ善ク察セサル者ノ論ノミ在上ノ人果シテ之ヲ崇重シ之ヲ實行セハ道德ノ權力却テ法律ニ倍從スル者アルヲ見ン

倫理ノ學ハ体ニシテ經ナリ技藝ノ學ハ用ニシテ緯ナリ若シ体用經緯ニシテソノ本末緩急ノ序ヲ誤ル一ナクソハ猶ホ良工ノ反物ヲ織ルカ如ク美麗堅固ニシテ實用ニ供スヘキ者ヲ獲ン一必セリ然レモ近來謂フ所ノ學業ハ大抵技術ノミ藝學ノミ是ヲ以テ學生ノ力ヲ用ウル智識ノ一方ニ偏重シテ兎角行誼ヲ修メス温厚着實ノ風日ニ去リテ輕佻狡慧ノ習漸ク長シ近日ニ至リテハ長ヲ凌キ上ヲ犯スノ弊到ル處ニ之ヲ見ル學校ニ在ラサレハ則チ市郡ニ在リ是ニ於テカ在上ノ人始メテ之ヲ憂ヘ一ニ罪ヲ生徒若シクハ少年ニ歸ス者ノ如シ然レモ此ノ如キ弊風ヲ惹起セシムル所ノ者ハ在上ノ人モ亦自ラ此ニ深省セサルヘカラス何ントハレハ方今政府ノ人ヲ取ルハ藝ヲ以テシテ道ヲ以テセス學校ノ士ヲ教ユルニハ技ニ在リテ德ニ在ラス夫レ上ノ尙フ所ハ下必ス之ニ赴ク中才以下ノ人概ネ然リ之ヲ奈何ソ人々々々シテ孝悌忠信ニ勵マシムルヲ得ンヤ若シ教育ノ法今日ノ如クニシテ改メスンハ世間有爲ノ士ハ唯智識ノ鍊磨之レ務メテ相競爭シ其弊ハ只管一身一家ノ利ヲ謀リテ國家民人ノ禍害ヲ顧ミサル者アラン豈ニ恐ルヘキノ事ナラスヤ故ニ國家ノ爲メニ完全ナル有爲有守ノ人材ヲ得ント欲セハ亦倫理ノ教ヲ

擴張スルニ在ルヲ知ルヘシ

稟 告

前號文苑欄内園助教授の
軍歌校正の疎漏にて夥多
の誤植を生じ可惜玉作に
瑕疵を付けたる罪不輕と
恐縮仕候謹で次頁に重々
る誤を正し一般讀者特に
園助教授の寛大ある宥恕
を仰ぎ候也